

令和4年度

高取町教育委員会事務事業評価報告書

高取町教育委員会

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

令和5年12月

高取町教育委員会
教育長 関口 純司

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、高取町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、評価・提案いただいた報告書について、下記のとおり提出します。

記

1 評価・提案対象

- ・ 教育総務
- ・ 学校教育
- ・ 学校保健
- ・ 文化財
- ・ 社会教育
- ・ 社会体育

2 評価期日 令和5年11月24日（金）

高取町教育委員会の会議開催状況と活動内容について

- 1 教育委員会 5名（教育長を含む）
- 2 委員会の開催 年12回開催（定例会）

開催日	議事内容（協議・報告事項）
令和4年4月12日	・ 事務局職員及び教職員の人事異動結果について
	・ 令和3年度中学校卒業生進学先について
	・ 幼児児童生徒数について
	・ 学校（園）教育課程の編成等について
	・ 令和4年度学校評議員の任命について
令和4年5月10日	・ 生涯学習リベルテ教室の申し込み状況について
令和4年6月7日	・ 令和4年高取町議会第2回定例会について
令和4年7月12日	・ 令和4年高取町議会第2回定例会の報告案件について
	・ 令和4年度高取町就学奨励金給付審査会の審査結果について
令和4年8月9日	・ 令和5年度使用教科用図書採択について
	・ 令和4年高取町議会第1回臨時議会の報告案件について
	・ 学校（園）訪問について
令和4年9月20日	・ 令和4年高取町議会第3回定例会の報告案件について
令和4年10月11日	・ 事務局職員人事異動結果について
令和4年11月8日	・ 令和3年度高取町教育委員会事務事業評価について
	・ 全国学力・学習状況調査結果の公表について
令和4年12月13日	・ 教職員の年度末人事異動スケジュールについて
	・ 令和4年高取町議会第4回定例会の報告案件について
	・ 各学校園の卒業式及び入学式の日程について

開催日	議事内容（協議・報告事項）
令和5年1月10日	・「二十歳のつどい」の参加者数について
令和5年2月14日	・次年度高取町教育委員会行政方針（案）について
	・体力調査結果について
	・次年度1学期始業式及び終業式の日程について
	・インフルエンザの発生状況調査について
	・次年度「二十歳のつどい」の日程について
令和5年3月14日	・令和5年高取町議会第1回定例会について
	・教職員人事異動について
	・令和5年度各学校（園）の幼児児童生徒数について
	・高取中学校の高校入試結果について
	・令和5年度生涯学習リベルテ教室の募集について

3 委員の活動

開催日	活動内容
令和4年6月25日	高取町差別をなくす町民集会
令和4年10月20日	高取中学校訪問
令和4年11月1日	たかとり幼稚園訪問
令和4年11月11日	たかむち小学校訪問
令和4年11月16日	奈良県市町村教育委員会連合会研修大会

高取町教育委員会及び事務局構成

令和4年5月1日現在

高取町教育委員会

教育委員会	教育長	1	委員	4					計	5
教育委員会事務局	教育次長	1	次長補佐	1	学校教育	2	社会教育	2	計	10
	社会体育	1	文化財	2	給食センター	1				

高取町立学校（園）構成

たかむち小学校

児童	1年生	40	2年生	43	3年生	32	4年生	50	計	270
	5年生	39	6年生	54	特支	12				
教職員	校長	1	教頭	1	教諭	15	講師	5	計	27
	養護教諭	1	栄養職員	1	事務員	1	用務員	(2)		
学校医	校医	1	歯科医	1	薬剤師	1			計	3

高取中学校

生徒	1年生	50	2年生	47	3年生	47	特支	10	計	154
教職員	校長	1	教頭	1	教諭	12	講師	1	計	19
	養護教諭	1	栄養職員	0	事務員	1	用務員	(2)		
学校医	校医	1	歯科医	1	薬剤師	1			計	3

たかとり幼稚園

園児	3歳児	11	4歳児	10	5歳児	16			計	37
教職員	園長	1	副園長	1	主任	1	教諭	4	計	8
	用務員	1								
幼稚園医	園医	1	歯科医	2	薬剤師	1			計	4

教育総務

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	高等学校等就学奨励金事業（継続）		
分類	教育総務		
事業の目的	経済的理由等により、就学が困難な者の高等学校等への就学を容易にし、その者の資質の増進を図ることを目的とする。		
事業内容の説明	高取町高等学校等就学奨励金給付要綱で定める就学が困難な者に対して入学年次1回限り5万円の給付を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	高等学校等就学奨励金給付者数	1	1
備考			
実績	令和3年度、令和4年度中にそれぞれ1件ずつ給付申請があり、それぞれ1件ずつ給付決定を行った。		
成果と課題	ホームページや町広報誌で高等学校就学奨励金について周知しているが、申請者数に増減がない。高等学校等へ進学する生徒の保護者への周知方法が課題となっている。		
今後の取組み	高等学校等への進学を容易にする高等学校等就学奨励金を、今後も奨励金を必要とする保護者に対して給付ができるよう周知を継続していく。		
総合評価	B		

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	学校教育活動支援事業 (継続)		
分類	教育総務		
事業の目的	学校教育活動の一層の充実及び教員の「働き方改革」の実現を図ることにより、児童生徒へのよりきめ細かな指導につなげることを目的とする。		
事業内容の説明	学習につまづきがある児童生徒を補助する「学習指導員」及び教職員に代わって印刷業務や教材作成補助等を行う「スクールサポートスタッフ」を配置し、教職員の支援を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	学習指導員配置時間数 (年間)	1,083	1,047
	スクールサポートスタッフ配置 時間数 (年間)	1,414	1,520
備考			
実績	<p>令和3年度配置時間 小学校－学習指導員 1,083時間 小学校－スクールサポートスタッフ 659時間 中学校－スクールサポートスタッフ 755時間</p> <p>令和4年度配置時間 小学校－学習指導員 1,047時間 小学校－スクールサポートスタッフ 800時間 中学校－スクールサポートスタッフ 720時間</p>		
成果と課題	小学校に「学習指導員」を2名、「スクールサポートスタッフ」を2名、中学校に「スクールサポートスタッフ」を2名、合計2,567時間の配置を行った。		
今後の取組み	児童生徒への指導の充実のため、今後も継続して「学習指導員」「スクールサポートスタッフ」の配置を継続する。		
総合評価	B		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→「A」 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→「B」
 前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→「C」 指標数値 \leq 前年度比79%→「D」 評価なし→「-」

学校教育

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	確かな学力の育成 (継続)					
分類	学校教育					
事業の目的	将来の高取町を担う人づくりを目指して、その活力あるまちづくりの原動力となる豊かな人間性と創造力をそなえ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を目的とする。					
事業内容の説明	令和4年度全国学力・学習状況調査 【調査対象児童生徒数】 小学6年生 56名 (内1名未実施) 中学3年生 52名 実施教科：国語、算数・数学、理科					
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績			
	全国学力・学習状況調査 (小学校) (平均正答率 (県比較数値))	96.2	104.3			
	全国学力・学習状況調査 (中学校) (平均正答率 (県比較数値))	93.1	96.4			
備考	※県比較は、県平均正答率を100とした際の町平均正答率の数値である。 全国学力・学習状況調査以外にも「生活発表会 (幼稚園)」や「6年生を送る会 (小学校)」など子どもの1年間の成長を確認できる学校行事も行っている。					
実績	【令和3年度平均正答率】		【令和4年度平均正答率】			
	町	県	町	県		
	小学校国語	57%	61%	小学校国語	68%	63%
	小学校算数	68%	69%	小学校算数	64%	62%
	中学校国語	60%	62%	小学校理科	62%	61%
	中学校数学	48%	54%	中学校国語	65%	68%
				中学校数学	49%	50%
				中学校理科	46%	48%
成果と課題	令和4年度調査結果において、小学校ではすべての教科で県平均を上回っている。中学校ではすべての教科で県平均をやや下回っている。					
今後の取組み	個に応じた指導や保育を充実させるなど、引き続き子どもの確かな学力育成を継続していく。					
総合評価	A					

評価基準 指標数値 ≥ 前年度比105% → 「A」 前年度比95% ≤ 指標数値 ≤ 104% → 「B」
前年度比80% ≤ 指標数値 ≤ 94% → 「C」 指標数値 ≤ 前年度比79% → 「D」 評価なし → 「-」

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	豊かな人間性の育成（継続）		
分類	学校教育		
事業の目的	将来の高取町を担う人づくりを目指して、その活力あるまちづくりの原動力となる豊かな人間性と創造力をそなえ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を目的とする。		
事業内容の説明	各学校で体験学習、芸術活動、社会奉仕活動など子どもの人間性や想像力を醸成する学校活動を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	高取中学校音楽発表会関係授業 時間数（年間）	15	15
	たかむち小学校体験学習授業 時間数（年間）	28	28
備考			
実績	<p>たかむち小学校では、体験学習として「いのちの学習」「森林探検」「教育ファーム」「町探検」「校区探検」等を行った。</p> <p>高取中学校では、音楽の授業を中心とした合唱練習及び合唱コンクールに向けた学級活動での準備など行った。</p>		
成果と課題	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、コロナ禍以前のように実施できないが、実施方法を工夫しながら各学校において豊かな人間性の育成に係る学校活動等が行われた。		
今後の取組み	引き続き子どもの豊かな人間性の育成のため、現在実施している事業を継続していく。		
総合評価	B		

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	たくましい心身の育成（継続）		
分類	学校教育		
事業の目的	将来の高取町を担う人づくりを目指して、その活力あるまちづくりの原動力となる豊かな人間性と創造力をそなえ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を目的とする。		
事業内容の説明	令和4年度奈良県児童生徒体カテスト 調査対象児童生徒数：小学5年生 40名 中学2年生 49名 調査項目：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	奈良県児童生徒体カテスト（小学校） （県比較数値）	103.0	104.6
	奈良県児童生徒体カテスト（中学校） （県比較数値）	99.2	101.6
備考	県比較数値は、奈良県平均を100とした際の町平均の数値である。 小中学校で実施した8種目の県比較数値の平均を学校種別で算出している。		
実績	令和4年度奈良県児童生徒体カテスト（県比較数値） 男子 女子 小学校 109.4 99.8 中学校 104.7 98.6 また、各学校園では運動会やマラソン週間など児童生徒の心身の育成に資する学校行事も行われている。		
成果と課題	小学校では、男子が7種目、女子が3種目で県平均数値を上回っていた。 男女共通して握力が弱く、ともに県平均数値を下回っていた。 中学校では、男子が6項目、女子が2項目で県平均数値を上回っていた。 男女共通して立ち幅跳び、ボール投げに弱く、ともに県平均数値を下回っていた。		
今後の取組み	基礎体力の増強につながる体育の時間と体育的行事の充実など、引き続き子どものたくましい心身の育成を継続していく。		
総合評価	B		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→「A」 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→「B」
前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→「C」 指標数値 \leq 前年度比79%→「D」 評価なし→「-」

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	ICT教育の充実（継続）																				
分類	学校教育																				
事業の目的	GIGAスクール構想によって導入したICT環境を十分に活用できる児童生徒の育成を目的とする。																				
事業内容の説明	GIGAスクール構想により1人1台端末を用いた授業、AIドリルによる児童生徒1人1人の理解度に合わせた学習など、ICT機器を活用して学習する過程で児童生徒のICT機器活用スキルの向上が見込まれるような学習方法を各学校で行っている。																				
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績																		
	たかむち小学校ICT機器利用率	78.2%	75.0%																		
	高取中学校生徒ICT機器利用率	63.3%	72.7%																		
備考	児童生徒ICT機器利用率は、年間授業日数に対して1日1回以上学校で児童生徒がICT機器を利用した日数の割合である。																				
実績	<p>ICT機器利用率</p> <table border="0"> <tr> <td>小学1年</td><td>35.4%</td> <td>小学2年</td><td>59.1%</td> <td>小学3年</td><td>88.7%</td> </tr> <tr> <td>小学4年</td><td>88.7%</td> <td>小学5年</td><td>88.7%</td> <td>小学6年</td><td>89.6%</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td><td>79.8%</td> <td>中学2年</td><td>73.2%</td> <td>中学3年</td><td>65.0%</td> </tr> </table> <p>※小学1年は、端末利用に先立ち必要となる技能（読み書き等）を習得してからの利用であり、他学年に比べて利用開始が遅いため、利用率が低くなっている。 令和4年度中に新たに導入したAIドリルなど個別最適化された学習に活用できる教材の活用等により利用率の向上が確認できた。</p>			小学1年	35.4%	小学2年	59.1%	小学3年	88.7%	小学4年	88.7%	小学5年	88.7%	小学6年	89.6%	中学1年	79.8%	中学2年	73.2%	中学3年	65.0%
小学1年	35.4%	小学2年	59.1%	小学3年	88.7%																
小学4年	88.7%	小学5年	88.7%	小学6年	89.6%																
中学1年	79.8%	中学2年	73.2%	中学3年	65.0%																
成果と課題	令和2年度のGIGAスクール構想により1人1台端末が導入され、2年が経過し、各学校での活用が益々進んでいる。宿題など家庭学習での活用も進めていくことが今後の課題であると考えます。																				
今後の取組み	奈良県が実施している先生向けのICT研修を勧奨するなどICTを活用した教育が環境づくりを今後も継続して進めていく。																				
総合評価	A																				

評価基準 指標数値≧前年度比105%→「A」 前年度比95%≦指標数値≦104%→「B」
前年度比80%≦指標数値≦94%→「C」 指標数値≦前年度比79%→「D」 評価なし→「-」

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	キャリア教育の充実（継続）		
分類	学校教育		
事業の目的	自分の将来や進路に夢や希望をもって学び、社会的自立・職業的自立に向けて必要な意欲・態度の育成を目的とする。		
事業内容の説明	令和2年度から開始した「キャリアパスポート」をはじめとした発達段階に応じたキャリア教育を各小中学校で行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	高取中学校キャリア学習授業 時間数（年間）	15	18
	たかむち小学校キャリア学習授業 時間数（年間）	15	60
備考	※今年度評価からたかむち小学校におけるキャリアパスポート関連授業時間数を計上しているため、大幅な時間数増加となった。		
実績	たかむち小学校キャリア教育として、キャリアパスポートの作成があり、キャリアパスポートの作成を通じて児童に将来の職業を考えさせる教育を行った。 高取中学校キャリア学習として、例年職場体験を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、いくつかの職業の方をゲストティーチャーとして招き、講義を実施した。 また、校外学習として「キッズニア甲子園」に行くなど、子どもたちに将来の職業について考えさせる教育を行った。		
成果と課題	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、コロナ禍以前のように実施できないが、実施方法を工夫しながら各学校においてキャリア教育が行われた。		
今後の取組み	児童生徒の職業観及び主体的に進路を選択する能力を向上させるため、今後もキャリア教育を継続していく。		
総合評価	A		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→「A」 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→「B」
前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→「C」 指標数値 \leq 前年度比79%→「D」 評価なし→「-」

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	生徒指導の充実（継続）											
分類	学校教育											
事業の目的	多様化・深刻化する子どもたちの問題行動、いじめや不登校等に適切に対応できる組織体制の確立を目的とする。											
事業内容の説明	臨床心理士の資格を持つ者を教育相談員として採用し、毎週金曜日午後15時に児童生徒及びその保護者を対象とした教育相談を行う。											
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績									
	教育相談実施回数（年間）	49	45									
備考	相談回数の減少は「相談事を抱える児童生徒の減少」でもあるため、総合評価欄は「－」とする。											
実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談件数</th> <th>延べ相談回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>10件</td> <td>49回</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>09件</td> <td>45回</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、上記の教育相談事業の実施以外にも不登校生徒や新型コロナウイルス感染症で自宅待機する生徒に対して授業動画配信を行うなど、学校に来ることができない生徒に対する学習支援も併せて行った。</p>				相談件数	延べ相談回数	令和3年度	10件	49回	令和4年度	09件	45回
	相談件数	延べ相談回数										
令和3年度	10件	49回										
令和4年度	09件	45回										
成果と課題	令和4年度からはコロナ禍前と同じような対面型の教育相談を再開した。相談回数に若干の減少が確認された。											
今後の取組み	教育相談だより等教育相談に対する心理的抵抗感を払拭できるような広報を行い、少しでも相談しやすい環境を整えていく。また、相談対象を高校生まで広げることにより、中学校卒業後も引き続き支援できる体制を整える。											
総合評価	—											

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→「A」 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→「B」
前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→「C」 指標数値 \leq 前年度比79%→「D」 評価なし→「－」

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	幼稚園・小学校・中学校間の交流と連携（継続）		
分類	学校教育		
事業の目的	幼稚園・小学校・中学校の交流を密にすることにより、幼児児童生徒への継続的な教育の提供を行い、所謂「小1プロブレム」「中1ギャップ」の解消を目的としている。		
事業内容の説明	学校（幼稚園）行事の中に他校種と交流する行事を設けたり、小中学校の先生同士で情報共有をしたりする。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	幼保小交流会実施回数（年間）	0	1
	小中連絡会実施回数（年間）	1	1
備考			
実績	幼保小交流会については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年度は実施できなかったが、令和4年度は実施方法等を検討しつつ実施することができた。 小中連絡会については、来年度から中学校へ進学する児童の情報を小中学校の先生同士で共有することで、進学後の円滑な生徒指導につなげることができている。		
成果と課題	コロナ禍の中であっても、幼小連携においては、交流会や体験学習を通じて、小中連携においては、小中連絡会や文化発表会の参観等を通じて、それぞれ実施することができた。		
今後の取組み	児童生徒にとって入学して初めての躰きになりうる「小1プロブレム」「中1ギャップ」の解消のため、今後も継続して学校園間の交流事業を継続して実施していく。		
総合評価	B		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→「A」 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→「B」
前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→「C」 指標数値 \leq 前年度比79%→「D」 評価なし→「-」

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	通学路整備事業 (継続)		
分類	学校教育		
事業の目的	幼児児童生徒に安心・安全な通学・通園環境を保障することを目的としている。		
事業内容の説明	高取町連合PTAのご協力のもとに危険箇所を特定し、高取町通学路交通安全プログラムに基づいた合同点検を行い、対策内容を検討した上で、危険箇所の改善を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	通学路危険箇所合同点検実施回数 (年間)	1	1
備考			
実績	令和4年8月23日 通学路合同点検事前打合せ 令和4年10月7日 通学路合同点検 (PTA・学校・警察・道路管理者参加) 令和4年12月1日 高取町通学路安全推進会議		
成果と課題	令和4年度では、通学路危険箇所21か所について、高取町通学路安全推進会議を開き、対策内容の検討を行い、予算上対策が年度内に可能であった18か所について対策を完了した。 残りの3か所についても、関係各課と連携を図りながら対策を進めていく。		
今後の取組み	通学路の危険箇所対策は、幼児児童生徒の生命を守る上で重要な取組みである。 これからも定期的な合同点検及び対策を行っていく。		
総合評価	B		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→「A」 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→「B」
 前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→「C」 指標数値 \leq 前年度比79%→「D」 評価なし→「-」

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給事業 (継続)		
分類	学校教育		
事業の目的	高取町立小中学校へ就学する児童生徒のうち、経済的理由により就学が困難な児童生徒の世帯を対象として就学援助費を支給することにより、児童生徒の就学への一助を目的としている。		
事業内容の説明	学用品費、校外活動費、学校給食費、修学旅行費など費目ごとに支給額を定め、支給対象となった世帯へ支給を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	要保護・準要保護児童生徒就学援助費認定者数 (人)	56	68
	要保護・準要保護児童生徒就学援助費 (円)	4,884,923	4,264,290
備考	令和4年度2～3学期に学校給食の無償化を実施し、学校給食費に係る就学援助費の支給額が減少した。そのため、前年度と比較して、認定者数が増加した一方、支給額が減少した。		
実績	<p>令和3年度</p> <p>要保護 2名 (小学校: 0名 中学校: 2名)</p> <p>準要保護 54名 (小学校: 30名 中学校: 24名)</p> <p>令和4年度</p> <p>要保護 1名 (小学校: 0名 中学校: 1名)</p> <p>準要保護 67名 (小学校: 33名 中学校: 34名)</p>		
成果と課題	就学援助の支給もあってか、令和4年度の小中学校における「経済的理由による長期欠席者」の数は0人であった。		
今後の取組み	新型コロナウイルス感染症による不況などもあり、国の基準額が増加傾向にある。それに合わせて支給額を定めることにより、今後も経済的な理由により就学が困難な児童生徒への援助を継続して行っていく。		
総合評価	B		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→「A」 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→「B」
前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→「C」 指標数値 \leq 前年度比79%→「D」 評価なし→「-」

学校保健

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	学校給食センター施設管理事業（継続）		
分類	学校保健		
事業の目的	適切な学校給食の実施に必要なとなる給食センター施設の安全衛生管理を目的とする。		
事業内容の説明	業者による施設内消毒作業、排水処理槽・浄化槽点検、消防設備点検、受水槽清掃点検、グリストラップ清掃、水電解消毒装置点検に加えて、職員による害虫駆除等を行っている。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	施設内消毒作業回数（年間）	2	2
	排水処理槽点検回数（年間）	26	26
備考			
実績	<p>業者点検回数（年間） 施設内消毒作業 2回 排水処理槽点検 26回 浄化槽点検 4回 消防設備点検 2回 受水槽清掃点検 1回 グリストラップ清掃 1回 水電解消毒装置点検 1回</p> <p>また、業者による点検に加えて、職員により毎日、害虫確認駆除、調理機器の安全確認、日常のグリストラップ清掃等が行われている。</p>		
成果と課題	施設内消毒については、夏休み及び春休みに実施し、あらゆる細菌に対し消毒・滅菌を行っている。また、点検結果を調理員の衛生意識向上に役立てている。		
今後の取組み	今後も継続して各種点検を行うことにより、適切な給食センター施設管理を行っていく。		
総合評価	B		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→「A」 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→「B」
 前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→「C」 指標数値 \leq 前年度比79%→「D」 評価なし→「-」

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	安全・安心な学校給食の実施事業（継続）		
分類	学校保健		
事業の目的	児童生徒の心身の健全な発達に資する学校給食の適切な提供を目的とする。		
事業内容の説明	「安全・安心」を基本として学校給食を実施している。また、近年アレルギーがある幼児児童生徒が増加傾向にあり、対応するために米粉や豆乳を使ったアレルギー対応食品やアレルゲンが含まれていない商品を選定することで、できるだけ全員が同じものを食べられる環境づくりを行うよう努めている。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	食材検査の実施回数（年間）	1	1
	職員の衛生管理（検便）回数 （月間）	2	2
備考			
実績	上記の食材検査、職員の衛生管理（検便）以外にも、給食調理員を対象とし町主催で年1回研修会を実施する、地産地消の推進の観点から地元農家で作る旬の野菜及び加工品（味噌）を使用する、毎月1回各学校園代表者と給食センター職員で会議を開き、スケジュール確認、当月の問題点整理及び翌月の献立について打合せを行うなど「安全・安心な学校給食の実施」を目的とした取り組みを行っている。		
成果と課題	各種取り組みを継続して実施することにより、食中毒等もなく、安全・安心な学校給食の提供が実施できている。		
今後の取り組み	今後も「安全・安心な学校給食の実施」を目的とした各種取り組みを継続していく。		
総合評価	B		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→「A」 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→「B」
前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→「C」 指標数値 \leq 前年度比79%→「D」 評価なし→「-」

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	教職員ストレスチェック事業（継続）														
分類	学校保健														
事業の目的	教職員のメンタルヘルス不調を未然に防止すること並びにそれによる職場環境の改善を目的とする。														
事業内容の説明	1年に1回、公立学校共済組合が実施するストレスチェックに申し込み、学校園の教職員に受診を促している。														
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績												
	ストレスチェック受診者率	77.1%	76.7%												
備考															
実績	各年度の受診者数内訳 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">令和3年度</th> <th style="text-align: center;">令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園</td> <td style="text-align: center;">8名/9名</td> <td style="text-align: center;">5名/6名</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">17名/23名</td> <td style="text-align: center;">19名/21名</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">12名/16名</td> <td style="text-align: center;">9名/16名</td> </tr> </tbody> </table>				令和3年度	令和4年度	幼稚園	8名/9名	5名/6名	小学校	17名/23名	19名/21名	中学校	12名/16名	9名/16名
	令和3年度	令和4年度													
幼稚園	8名/9名	5名/6名													
小学校	17名/23名	19名/21名													
中学校	12名/16名	9名/16名													
成果と課題	ストレスチェックの受診は任意であるため、受診率についても例年7割から8割未満で推移している。多忙な先生にどのようにして受診してもらうかが課題となっている。														
今後の取組み	将来を担うこどもたちを教育するという重要な仕事を担っている教職員のメンタルヘルス不調を防ぐため、これからもストレスチェックの実施及びその勧奨を継続していく。														
総合評価	B														

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→「A」 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→「B」
 前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→「C」 指標数値 \leq 前年度比79%→「D」 評価なし→「-」

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	災害共済給付事業 (継続)																						
分類	学校保健																						
事業の目的	学校園の管理下において幼児児童生徒が負傷、疾病等の災害に遭った際に、その治療費や見舞金の給付を行うことにより、保護者の経済的負担を軽減することを目的としている。																						
事業内容の説明	独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を締結し、学校園の管理下において幼児児童生徒が負傷、疾病等の災害に遭った際に、その治療費や見舞金の給付を行う。 共済掛金については、全額公費負担としている。																						
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績																				
	災害共済給付件数 (年間)	64	46																				
	災害共済給付金額 (年間)	454,070	459,336																				
備考	災害共済給付件数の減少は「幼児児童生徒の学校管理下での負傷、疾病が減少したこと」を意味するため、総合評価欄は「－」としている。																						
実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>3件</td> <td>5,687円</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>22件</td> <td>109,612円</td> <td>14件</td> <td>71,000円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>42件</td> <td>344,458円</td> <td>46件</td> <td>459,336円</td> </tr> </tbody> </table>				令和3年度		令和4年度		幼稚園	0件	0円	3件	5,687円	小学校	22件	109,612円	14件	71,000円	中学校	42件	344,458円	46件	459,336円
	令和3年度		令和4年度																				
幼稚園	0件	0円	3件	5,687円																			
小学校	22件	109,612円	14件	71,000円																			
中学校	42件	344,458円	46件	459,336円																			
成果と課題	医療機関、保護者、学校、教育委員会事務局、日本スポーツ振興センターが連携することにより、適切な給付金の支給を行うことができた。一方で部活動等の影響もあり、中学校での負傷の件数がたかとり幼稚園、たかむち小学校よりも多くなっている。体育の授業や部活動の際に怪我への注意喚起を促す必要がある。																						
今後の取組み	各学校園へ注意喚起を促すとともに、引き続き適正な給付事業を継続していく。																						
総合評価	—																						

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→「A」 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→「B」
前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→「C」 指標数値 \leq 前年度比79%→「D」 評価なし→「－」

文化財

事務事業名 (新規・継続)	市尾遺跡第4次発掘調査（新規）		
分類	文化財		
事業の目的	「周知の埋蔵文化財包蔵地」において開発が行われる際等に、事前に発掘調査を実施することにより、その場所に遺跡・遺物があるかどうか確認するため。		
事業内容の説明	個人住宅建設計画が持ち上がり、当該地は奈良県遺跡地図に掲載されている「周知の埋蔵文化財包蔵地」であり、周辺では過去に弥生時代の水田跡が検出されていることから、5m×10mの調査区を設けて発掘調査を実施した。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	—	—	—
	—	—	—
備考			
実績	当初は5m×10mの調査区を設けて発掘調査を行っていたが、遺構が検出されなかったため、5m×5mに縮小し、写真及び図面作成による調査の記録を行って埋め戻しを行った。調査の結果、調査を行った箇所については、旧河道であったことがわかった。遺物としては、土師器、須恵器、瓦器の細片が少量出土したのみであった。		
成果と課題	発掘調査を行った結果、この場所には遺構が存在しなかった、あるいは、河道によって遺構が破壊されていた、両方の可能性があることが判明した。		
今後の取組み	今後も町内の「周知の埋蔵文化財包蔵地」において開発が行われる場合や、開発面積が規定の面積を超過する場合は、慎重に発掘調査を行い、遺跡の確認に努める。		
総合評価	—		

事務事業名 (新規・継続)	与楽古墳群整備事業（継続）		
分類	文化財		
事業の目的	巨大な横穴式石室を持つ与楽カンジョ古墳を始め、古墳時代後期から終末期にかけて築造され、残存状態の良い古墳を、一般の方々にも見ていただけるようにするため。		
事業内容の説明	それぞれの古墳の整備を始め、多くの方々に来てもらえるように古墳周辺の草刈りや、景観をよくするために竹や木の伐採等を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	—	—	—
	—	—	—
備考			
実績	与楽カンジョ古墳の墳丘南部の盛り土及び張芝による復元、墳丘東側の園路舗装、墳丘東側法面の整備、墳丘南側下段に木製階段、園路舗装に伴う排水施設の設置、墳丘北側にヤマザクラの植樹、与楽カンジョ古墳～寺崎白壁塚古墳の不要木（柵・竹）の伐採を行った。		
成果と課題	与楽カンジョ古墳の墳丘の整備については令和4年度で完了したため、見栄えがよくなり、多くの見学者が訪れている。 しかし、与楽カンジョ古墳の周辺整備については、まだ完了していないため、計画を立て、整備を実施する。		
今後の取組み	与楽古墳群は、今後も継続して与楽カンジョ古墳の周辺整備を進め、完了した後は、与楽鐘子塚古墳及び寺崎白壁塚古墳についても整備を進めていく。		
総合評価	—		

事務事業名 (新規・継続)	市尾墓山古墳修理保存事業（継続）		
分類	文化財		
事業の目的	市尾墓山古墳を一般の方々にも親しんでいただけるように、墳丘や石室内の整備を行う。		
事業内容の説明	墳丘の崩落している部分の復元や、景観にそぐわない土のうを別のものに積み替え、漏電している石室内の電気修理工事を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	—	—	—
	—	—	—
備考			
実績	前方部南隅の崩落部の植生土のうの積み上げ及び張芝による復元、後円部石室扉上部の土のうを景観に配慮した土のうへの積み替え、石室内部の電気修理工事を行った。		
成果と課題	過去に崩落部の復元を土のうの積み上げによって行った際は、土のうが滑り落ちる結果となった。そのため、今回はより土に馴染みやすい植生土のうを用い、その上に芝を張ることによって、安定化を図った。		
今後の取組み	市尾墓山古墳の墳丘部の整備は完了したが、自家用車等で訪れる方の利便性を向上し、地域に寄り添った史跡を目指すため、駐車場や便益施設等の整備を行っていく。		
総合評価	—		

事務事業名 (新規・継続)	高取城址櫓の鯨瓦 復元事業 (新規)		
分類	文化財		
事業の目的	実際に高取城の櫓で使用されていた鯨瓦を復元することで、史跡高取城跡の価値を再確認・周知するため。		
事業内容の説明	史跡高取城跡で使用されていた鯨瓦の解体修理・復元を行い、一般公開を実施する。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	—	—	—
備考			
実績	史跡高取城跡の国見櫓もしくは新櫓のいずれかで使用されていたと考えられている鯨瓦の解体修理・復元を行った。また、町内で行われるひな巡りの開始に合わせ、復元が完了した鯨瓦をリベルテホールで展示した。展示の直前に記者発表を行ったこともあり、多くの反響が寄せられた。		
成果と課題	鯨瓦の復元を行い、展示を実施したことで、多くの方に見に来ていただくことができた。しかし、常設で展示できる施設がないため、期間を絞ってでの展示しか行うことができなかった。		
今後の取組み	今後も、奈良県が進めている史跡高取城跡の整備の一助になるように、教育委員会としてできることを実施する。		
総合評価	—		

社会教育

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	社会教育委員会議 (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	社会教育法に基づき、本町に置かれる社会教育委員の会議体として、社会教育委員会議を運営する。社会教育に関して教育委員会に助言を行う。		
事業内容の説明	社会教育委員 (兼・公民館運営審議委員) : 10名 ◎社会教育に関して教育委員会の諮問に対し意見を述べる。 ◎イングリッシュビレッジを立案する。(共催事業) ◎各大会への参加、社会教育関係団体へ参画する。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	会議の開催回数	5	7
	イングリッシュビレッジ開催回数	—	—
備考	イングリッシュビレッジについて、令和3年度、令和4年度ともに新型コロナウイルスの影響により、開催を見送ったため、総合評価を「—」にしている。		
実績	令和3年度 (定例会 : 5回) 各社会教育事業の報告・検討・意見交換、新型コロナ感染予防のための各施設 (健民運動場、テニス場、学校施設体育館・運動場、リベルテホール、図書室) の貸出条件の整備。 令和4年度 (定例会 : 6回 臨時会 : 1回) 各社会教育事業の報告・検討・意見交換・イングリッシュビレッジの検討、コロナ対策としての各施設の貸出条件の整備。		
成果と課題	新型コロナ感染防止の検討を重ねる中、会議で意見として出た図書室の蔵書をインターネットを使って外部から検索できるシステムを導入した。		
今後の取組み	幅広い分野での経験を持つ社会教育委員の知見は、社会教育事業を行う上で重要なものとする。今後も取組みを継続していく。		
総合評価	—		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→A 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→B
前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→C 指標数値 \leq 前年度比79%→D 前年度数値なし→—

事務事業名 (新規・継続)	生涯学習リベルテ教室 (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	町民の多種多様なニーズを踏まえ、生涯学習活動ができるよう学習環境の整備を図るとともに、学びを通じて人と人のつながりを豊かにし、地域の教育力向上およびコミュニティ振興に寄与することを目的とする。		
事業内容の説明	《教室一覧》和&洋リフォーム、着付け、籐工芸、水彩画、ペン画、フラワーアレンジメント、俳句、朗読、はじめての陶芸、陶芸、趣味の太極拳、歌謡フラ、健康レクダンス、健康いきいき体操、大正琴アンサンブル、歌ってしゃべってラッタッタ		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	開催教室数	17	16
	教室生数	192	162
備考	令和4年度 1教室減 (大人の食育教室)		
実績	令和3年度 開催教室数：17教室 教室生数：192人 令和4年度 開催教室数：16教室 教室生数：162人		
成果と課題	再受講も多く、学習機会として一定のニーズを獲得していると考えられるが、年々教室生が固定化する傾向にあり、新たな受講生の獲得が課題となっている。 また、コロナ禍で参加を見送られる方もおられ、1教室減もあり、教室生数が減少した。		
今後の取組み	令和5年度は、新たに「初心者のための手品教室」を開講する。 文化祭が開催された場合は、教室で作った作品を展示し、次年度へ向けて新たな受講生の確保に務める。		
総合評価	C		

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	高取町文化祭（継続）		
分類	社会教育		
事業の目的	町民の生涯学習活動、文化芸術活動の充実発展、成果発表及び、町の文化振興に寄与することを目的とする。		
事業内容の説明	◎展覧会／芸能発表会 …生涯学習教室および個人・団体の展示、発表 ◎模擬店…飲食物、雑貨等の販売 ◎お茶席		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	来場者数	—	—
	出展・出演・出店合計数	—	—
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3・4年度は開催中止。		
実績	—		
成果と課題	—		
今後の取組み	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3・4年度は開催中止。コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、令和5年度は実施する予定。		
総合評価	—		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→A 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→B
 前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→C 指標数値 \leq 前年度比79%→D 前年度数値なし→-

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	少年少女発明クラブ (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	次代を担う子どもたちに「ものづくり」を通じて、創造性豊かな子どもを育てることを目的とする。		
事業内容の説明	紙・木工・電子工作など、さまざまな分野の仕事を専任指導員の指導の下、年間を通して行っている。毎年、(公社)発明協会の補助(20万円)を受け、年間事業を実施している。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	参加者(人)	8	16
備考			
実績	対象児童：小学4年～6年生 令和3年度 参加者数(人) 計8人(男1人 女7人) 令和4年度 参加者数(人) 計16人(男4人 女12人)		
成果と課題	令和3年度に比べ、多くの児童が参加してもらえた。女子の参加が多い傾向がみられる。		
今後の取組み	発明協会からの補助金や指導員の協力がなければ成り立たない事業ではあるが、子どもたちの為にも広報や文化祭を通じてPRしていき、活動を継続していきたい。 (奈良県内には発明クラブは、高取を含め3か所しかない)		
総合評価	A		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105% \rightarrow A 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104% \rightarrow B
 前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94% \rightarrow C 指標数値 \leq 前年度比79% \rightarrow D 前年度数値なし \rightarrow -

事務事業名 (新規・継続)	リベルテホール貸館事業 (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	町民の文化の向上と福祉の増進を図るとともに、ふれあい豊かな地域社会に寄与することを目的とする。		
事業内容の説明	町内・町外問わず、部屋の貸出業務を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	利用者数 (人)	6,144	7,895
	利用料 (円)	488,680	470,560
備考	令和3年度、4年度ともに新型コロナウイルスワクチン接種会場として長期間使用し、また感染拡大防止のため制限付きの貸出し業務となった。		
実績	令和3年度 延べ利用者数 234件 6,144人 利用料 488,680円 令和4年度 延べ利用者数 445件 7,895人 利用料 470,560円		
成果と課題	コロナ禍によりリベルテホールの貸出条件を設けていたため、有料での貸し出しはあまりなかったが、生涯学習教室を通常通り開催できたため、利用者数は増加した。		
今後の取組み	貸館の条件を少しずつ緩和しているが、コロナワクチンの接種会場として長期間使用するため、通常の貸し出しは困難な状態で、固定利用者が離れてしまっていることから、ワクチン接種が完全に終了後、通常の貸出となれば広く周知をして、利用者の増加を促進したい。		
総合評価	A		

事務事業名 (新規・継続)	リベルテキッズらんど (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	子どもの居場所づくりや仲間づくりを目的としている。		
事業内容の説明	3歳児から小学6年生までの幼児児童を対象として事業を実施している。工作、調理、映画会、見学等さまざまな体験活動を行っている。 当町における学校・地域パートナーシップ事業の「放課後子ども教室」として位置づけている。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	実施回数	1	2
	参加者数	28	42
備考			
実績	令和4年度 12月「リベルテキッズシネマ」 2月「工作」 たかとりっこ夢くらぶ役員会（役員：9名）にて実施内容を検討した。		
成果と課題	令和3年度は感染対策を講じながら1回、令和4年度は2回実施できた。		
今後の取組み	新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたので、実施回数を増やしていく予定である。子どもたちのニーズも踏まえながら、内容を検討し、取組を展開していきたい。		
総合評価	A		

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	奈良県学校・地域パートナーシップ事業（継続）		
分類	社会教育		
事業の目的	未来を担う子どもたちの成長を支え、社会に開かれた教育課程を実現するために、「地域と共にある学校づくり」を進め、学校を地域のベースとして地域コミュニティを再構成し、子どもたちの様々な教育課題の解決及び地域の教育力向上を図る。		
事業内容の説明	◎米作り・さつまいも作り（教育ファーム推進協議会） ◎読み聞かせ・図書修理（たかとり絵本を楽しむ会「あのね」） ◎登下校見守り（子ども見守り隊） ◎リベルテキッズらんど（たかとりっこ夢くらぶ役員会） ◎地域未来塾		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	学校支援ボランティア数	146	152
備考			
実績	学校支援ボランティア数 （令和3年度：146人 令和4年度：152人） 令和4年度は、教育ファームおよびリベルテキッズらんど、登下校の見守りを感染対策を講じながら、引き続き行っていた。本の読み聞かせは再開し、地域未来塾は中止した。		
成果と課題	令和2年度は中止する事業が多かったが、令和3年度は少しずつ再開できた事業もあった。 ボランティアとして参加いただいている方はご高齢の方が多く、年々ボランティア数は減少傾向にある。		
今後の取組み	ボランティアのご協力のもと、事業を継続できている。 これからも、活動を引き続きお願いしていく。		
総合評価	B		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→A 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→B
 前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→C 指標数値 \leq 前年度比79%→D 前年度数値なし→-

事務事業名 (新規・継続)	家庭教育の推進（継続）		
分類	社会教育		
事業の目的	子どもたちの健やかな成長と、保護者同士の交流と研修を目的とする。		
事業内容の説明	保護者同士で活動内容を考えてもらい、講座の講師謝礼や施設使用料を公費負担している。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	学級生参加者（人）	22	30
備考			
実績	令和3年度 参加者数（人） 計22人 活動内容：ヨガ・写経・ハンドメイド講座・お片付け講座 令和4年度 参加者数（人） 計30人 活動内容：ヨガ・蒸しパン講座・味噌作り		
成果と課題	実情、少子高齢化やコロナ禍ということもあり、地域とのつながりの希薄化し、親が身近な人から子育てを学んだり助け合う機会が減少する中で、いかに子どもや保護者のサポート、意見交換の場を設けるかが課題である。		
今後の取組み	参加者数は増加しているが、幼・小・中の保護者と連携し、地域の輪を広げていくことで、この活動を継続していきたい。		
総合評価	A		

事務事業名 (新規・継続)	成人式（継続）		
分類	社会教育		
事業の目的	新成人が自立し、大人の社会へ仲間入りすることを自覚するための儀式であり、その門出を祝うことを目的とする。		
事業内容の説明	例年、リベルテキッズらんど（小学生による受付、音響、照明、舞台、司会のお手伝い）、来賓の方々からの祝辞、記念品贈呈、新成人代表による二十歳の誓い、高取中学校吹奏楽部の演奏などを行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	出席率（％）	85.1%	73.5%
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和3年度は規模を縮小して開催した。		
実績	<p>令和3年度 新成人対象者数 計67名（男：34名 女：33名） 出席者数 計57名（男：27名 女：30名）</p> <p>令和4年度 新成人対象者数 計49名（男：33名 女：16名） 出席者数 計36名（男：26名 女：10名）</p>		
成果と課題	令和3年度と違い、高取中学校吹奏楽部のお祝い演奏の実施を再開した。		
今後の取組み	新成人にとってより良い思い出になるよう、色々と再会していきたい。		
総合評価	C		

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	リベルテホール図書室管理運営事業 (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	図書を収集・整理・保存し、利用者に提供し、教養・調査研究・レクリエーション等に資することを目的に図書室を運営し、もって町の教育および文化の発展に寄与することを目的とする。		
事業内容の説明	◎図書の閲覧・貸出 (1人3冊2週間)、他館との相互貸借・連携 ◎おはなし会…たかとり絵本を楽しむ会「あのね」 ◎管理運営…カウンター業務をシルバー人材センターに委託 (3名のうち、1名司書有資格者)		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	貸出冊数	9,304	9,344
	貸出人数	3,306	3,451
備考	貸出冊数・人数ともに団体貸出を含む数を計上している。 (1団体100冊4週間)		
実績	(参考/令和2年度 貸出冊数：7,870冊 貸出人数：2,371人) 令和3年度 貸出冊数：9,304冊 貸出人数：3,306人 令和4年度 貸出冊数：9,344冊 貸出人数：3,451人		
成果と課題	貸出冊数、貸出人数ともにコロナ以前までの数値に戻りつつある。		
今後の取組み	今後ますます町民の皆さんに広く図書室を利用してもらえよう、引き続き広報等行っていきたい。		
総合評価	B		

社会体育

事務事業名 (新規・継続)	高取町民スポーツフェスティバル事業（継続）		
分類	社会体育		
事業の目的	スポーツを通して親睦を深めることを目的とする。		
事業内容の説明	世代別の種目や大字対抗種目などを行い、町民の親睦を深め、健康を増進することを目的として開催する。 これまで49回開催してきており、次回の開催で50回目となる。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	総参加人数（人）	-	-
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度、令和3年度、令和4年度ともに開催を延期している。		
実績	-		
成果と課題	-		
今後の取組み	令和5年度に第50回町民スポーツフェスティバルを開催予定		
総合評価	-		

事務事業名 (新規・継続)	奈良県市町村対抗子ども駅伝大会事業（継続）		
分類	社会体育		
事業の目的	小学校児童が、市町村対抗子ども駅伝大会に向けた練習をする中で、体力向上、スポーツ全般に必要な基礎体力及び連帯力を向上させることを目的としている。		
事業内容の説明	奈良県内市町村対抗で行う駅伝大会であり、開催時期は例年3月頃である。 参加対象は小学校5年生、6年生である。 これまで15回開催されており、次回の開催で16回目となる。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	参加児童数（人）	-	8
備考	令和5年3月4日（土）橿原運動公園にて第18回市町村子ども駅伝大会を開催		
実績	36チーム中22位		
成果と課題	練習会を9回開催し、本番に臨み、すべての選手が自己ベストを記録した。 子どもの人数が減少し、選手募集に苦慮している。		
今後の取組み	第19回市町村対抗子ども駅伝大会が開催予定のため、練習会を開催し大会に臨む。		
総合評価	-		

事務事業名 (新規・継続)	スポーツ推進委員活動事業（継続）		
分類	社会体育		
事業の目的	市町村におけるスポーツ推進を目的とする。		
事業内容の説明	スポーツ推進委員とは、スポーツ基本法第32条に基づき、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツ推進のため、住民に対するスポーツ実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行う者である。 高取町では10名の方にスポーツ推進委員を委嘱しており、主な活動内容としては、各種研修会への参加及び各種スポーツイベントへの協力		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	委員活動回数（回）	21	17
備考	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、スポーツイベントが中止になったことにより、スポーツ委員としての活動が減少した。		
実績	奈良県市町村対抗子ども駅伝大会の練習会への参加や研修会への参加を行った。		
成果と課題	ここ数年間は新型コロナウイルス感染症の影響でスポーツイベントが中止となることが多く、スポーツ委員としての活動回数が減少していることが課題となっている。		
今後の取組み	来年度以降も新型コロナウイルス感染症の流行度合いも勘案し、感染防止対策を行ったうえで、スポーツ委員が参加できるイベント等の開催を検討していく。		
総合評価	C		

事務事業名 (新規・継続)	社会体育施設及び学校施設の活用・管理事業（継続）		
分類	社会体育		
事業の目的	スポーツ及び文化活動の場として町民に施設を開放することにより、体力づくり及び町民によるコミュニティづくりの推進を目的とする。		
事業内容の説明	開放施設 たかむち小学校運動場、体育館 高取中学校体育館（アリーナ、武道場） 健民運動場 テニスコート		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	社会体育施設使用料（円）	813,700	738,400
備考			
実績	新型コロナウイルスの影響で、利用時間、利用人数等の制限を行いながらも、町民の健康増進及びコミュニティづくりの推進を行えた。		
成果と課題	現在、体育館施設が小学校、中学校の2館しかなく、定期利用団体が利用しているため、新規の利用者が利用しにくい状況となっている。学校施設以外の体育館施設が必要と考える。		
今後の取組み	今後もスポーツ及び文化活動の場として町民に開放し、体力づくり及びコミュニティづくりの推進を図っていく。		
総合評価	C		

令和4年度高取町教育委員会事務事業評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	総合型地域スポーツクラブ「メープルクラブ」事業（継続）		
分類	社会体育		
事業の目的	地域住民が主体的に運営するスポーツクラブとして、平成29年3月に発足。子どもから高齢者まで、それぞれの体力や技術に応じて、気軽にスポーツ活動及び文化活動に親しむことができる環境を提供し、多世代にわたる地域の交流や健康で活力ある地域づくりに寄与する。		
事業内容の説明	《開催教室一覧》 【子ども】キッズダンス、ジュニアダンスA・B、陸上、バスケットボール、バドミントン 【中学生以上一般・シニア】バドミントン(火)・(水)、ヨガ(夜) 【一般・シニア】ヨガ(初級)・(中級)、ノルディック・ウォーキング(火)・(土)		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和3年度 実績	令和4年度 実績
	教室参加者数	172	168
	開催教室数	14	13
備考	メープルクラブ運営委員会にて、クラブの方針、事業内容等検討を行う。（委員17名+クラブマネージャー2名+教委1名）		
実績	令和3年度 （教室参加者数：172名、開催教室数：7種目14教室） 新規教室：バドミントン(火) 令和4年度 （教室参加者数：168名、開催教室数：6種目13教室）		
成果と課題	バレーボール教室は、申込者が少なく、令和4年度は実施しなかった。コロナ禍の中、教室参加者数の減少が見られる。令和5年3月10日から法人化し、一般社団法人メープルクラブたかとりとしてスタートした。		
今後の取組み	クラブ発足時からスポーツ振興くじ助成を活用し運営を行ってきたが、助成が令和3年度末で終了した。今まで以上に自助努力し、運営を進めていきたい。ただし、町としても支援を続け、メープルクラブたかとりを存続し、健康寿命をのばすことに貢献してもらいたい。		
総合評価	B		

評価基準 指標数値 \geq 前年度比105%→A 前年度比95% \leq 指標数値 \leq 104%→B
 前年度比80% \leq 指標数値 \leq 94%→C 指標数値 \leq 前年度比79%→D 前年度数値なし→-

高取町教育委員会事務事業評価委員による評価

令和5年9月5日に高取町教育委員会事務事業評価委員会を開催し、それぞれの事業に対して以下の内容の評価を受けた。

評価内容

【教育総務】

1. 高等学校等就学奨励金事業(継続)

経済的な困難さを抱える家庭が増えている中、少しでも支援金制度があることはありがたいと思います。ただ、申請者数に増減が無いことをどのように捉えていくか、もう少し分析していく必要があると思います。

周知の方法として、現在行っている方法にプラスして、中学校から、申請条件・方法などを書いたチラシを配布してはどうでしょうか。そのことにより、町行政の取り組みのPRにもなると思われます。

今後とも継続して実施してほしいと思います。

2. 学校教育活動支援事業(継続)

学習につまずきがあると、その時点でやる気をなくしてしまう児童・生徒が殆どだと思います。しかし、「学習指導員」が横に行って少しのアドバイスをすることで、やる気のない状態から、少しは「頑張ってみよう」という気持ちが湧いてくると思います。一つのきっかけによって理解力に繋がっていくのだと思います。

また、「スクールサポートスタッフ」を配置することで、担任の仕事が軽減され、その分、児童生徒との関りが密になることから、より豊かな学校生活が送れるようになると思われます。

学校現場は教員不足の状況にある一方で、支援を必要とする児童は年々増えてきています。他市町村と比べても教育力向上のため非常に手厚い取り組みをしていただいていると思います。今後も継続して進めてほしいと思います。学校現場では、学力の向上、個に応じた指導など、この制度が有効に活用されていることを期待します。

【学校教育】

1. 確かな学力の育成(継続)

小学校では、全ての教科で県平均を上回っています。今後も個々に応じた学習形態を確立して行ってほしいと思います。

中学校では、全ての教科で県平均を下回っています。基礎学力の向上は人間育成に不可欠であり、小中学校の教員が共同して「原因究明」と「向上方途」に取り組むことにより、基礎学力向上を大切にしながら取り組んでいただきたいと思います。

2. 豊かな人間性の育成(継続)

新型コロナウイルス感染症の影響下での教育活動は、とても大変で、やりにくいところも多々あったかと思います。しかし、実施に向けて色々と方法を検討・工夫しながら取り組まれたことは、教育活動に大きくプラスになったと思います。

豊かな人間性を育成するためには、学校教育だけでは、より多くの体験や見聞が必要だと思います。そこで、地域の方々の力を借りて、農業や地域の伝統文化などを体験・体験することが重要なことだと思っています。時間や条件が許す限り、今後も継続して取り組んでほしいと思います。

【学校教育】

3. たくましい心身の育成(継続)

コロナ禍で体力向上が難しい中、取り組みの成果が出ているように思います。体力的には県平均レベルで及第点かと思われます。何をやるにも体力が無ければ、集中力、持続性などが欠けてしまうこともあり、学習に対しても影響があるように思います。基礎体力をつけるために、体育の時間を始め、行間の時間を有効的に使い、たくましい心身の育成を継続してほしいと思います。また、体力テストで弱点が明確になっているので、それに対する取り組みも引き続きよろしくをお願いします。

4. ICT教育の充実(継続)

利用率の数値のみを見ると利用頻度は低いが、1人1台端末の配布やAIドリルの活用など、先日学校に訪問した際も通常授業で当たり前のように端末を利用している光景が確認されており、有効な取り組みを推し進めていただいていると思われます。

ICT活用能力は、これからの時代に必要不可欠な技能であり、今後も、ICTを活用した活動が増えていくと思われます。小学校においては、他の小学校と通信でつないで、テレビ中継で学校の紹介、地域の紹介、意見交換などをされていることにビックリしました。教員の力量でクラスによって差が出ないように、国や県が実施する研修会に参加し、教員も更にスキルアップをし、「出来る、出来ない」の二分化にならないようにしてほしいです。

5. キャリア教育(継続)

コロナ禍においても町内施設や事業所との交流を絶やさずに実施している様子であり、実施方法を工夫していただいたことで、子どもたちも良い体験ができたと思います。高取町民の方々には、かなり協力していただけており、とてもありがたいと思います。

豊かな人間性の育成の一助となる教育であり、また、子どもが自立していくために欠かせない教育の一つでもありますので、地域の人材をしっかりと確保しながら継続して進めてほしいと思います。

6. 生徒指導の充実(継続)

生徒にとってはもちろん、保護者の方にとっても心の支えは大切です。そのため、心に寄り添う教育相談はとても重要であると思います。しかし、言葉では簡単に言えるとしても、とても難しい面もあると思います。過去にはオンラインで相談を実施するなど、工夫して取り組まれていることに感謝したいと思います。対象を高校生まで広げることも非常に良いと思います。

現状、荒れて授業にならないという状況はないようで安心しました。確認されたいじめや不登校状況も教育関係者内で共有され、方途も図られているようです。今後も継続して、最重点課題として取り組んでほしいと思います。

7. 幼稚園・小学校・中学校間の交流と連携(継続)

新型コロナウイルス感染症により最も影響を受けた事業だと思っています。

幼小中の交流は、子どもたちの不安を少しでも取り除き、進級に向けた安心にもつながると思います。たかとり幼稚園がたかむち小学校の敷地に隣接していることから、今まで以上に交流を持つことができると思います。高取町でしか出来ない画期的かつ発展的な交流を期待しています。勿論、中学校との交流も活発に取り組んでほしいと思います。

先生方も、互いの学校園での子どもの様子・授業内容を参観・交流し、学力向上や生徒指導についての方策を共有してもらいたいです。今後も引き続きよろしくをお願いします。

8. 通学路整備事業(継続)

町、PTA、地域の方々のご協力により防げていることがたくさんあると思います。

一方で、交通量の増大、交通マナーの低下、人目の少ない山間部の通学路など、永遠になくならない課題もあります。これまでも幼稚園・小学校・中学校において交通事故は発生しています。事故が起こってからでは遅いので、危険箇所があればすぐにでも補修できる予算を確保してほしいと思います。PTA・学校と教育委員会、更には町と密な連携をして、今後も積極的に取り組んでほしいと思います。

【学校教育】

9. 要保護・準要保護児童生徒の就学援助費支給事業(継続)

準要保護家庭数の多さに少し驚きを感じる一方で、「経済的な理由による長期欠席者」の数が0人であったことは、取り組みの成果だと思います。就学援助の認定基準や給食費無償化などが手厚い状況であると思います。これからも経済的理由で長期欠席者が出ないように、学校・行政がそれぞれの立場で見守りつつ、継続して積極的に取り組んでほしいと思います。

【学校保健】

1. 学校給食センター施設管理事業(継続)

調理器具の消毒、衛生管理、食材の洗浄・調理・管理、調理員さんの調理服の消毒など、安全対策や衛生管理などがすばらしい実施状況にあります。子どもの命を守るために、ありとあらゆるところで細心の注意を払っていただいていることに感謝したいと思います。今後も子どもたちのために継続して各種点検を行って頂き、今まで通り、適切な給食センター施設管理を行って頂きたいと思います。

2. 安全・安心な学校給食の実施(継続)

メニューの工夫やアレルギー対応など、幼児児童生徒の気持ちに寄り添った形で、安心安全な学校給食を実施して頂いていることに感謝申し上げます。皆が同じものを食べられる環境づくりを行うことで、子どもたちも給食を楽しめていると思います。これは、子どもの命を守る上でとても重要な取り組みだと思います。今後も継続して取り組んでほしいです。米飯・牛乳・デザート等、直接学校へ納入する業者の実情・チェック状況も今後見せていただければと思います。

3. 教職員ストレスチェック事業(継続)

全国的に見て、ストレスによる休職が増加している傾向にあるように思われます。全員がストレスチェック受けられるシステムを考えていく必要があると思います。チェックを受けたから終わりではなく、産業医にチェックしてもらうことも大切なことだと思います。心神喪失・職場不適合・職員間関係が原因で特休者が出ないような職場環境であることを願います。今後も継続して事業の実施をお願いします。

4. 災害共済給付事業(継続)

共済掛金を、全額公費で負担していることはありがたいと思います。
申請数は、幼・小・中を合わせると全体的には増加傾向にあるようです。怪我を未然に防ぐために幼稚園・小学校・中学校においては、環境を整えると共に注意喚起を促していくことが大切だと思います。また、なぜ怪我が起こったのかをしっかりと検証し、怪我をさせないための取り組みも進めてほしいです。ただ、怪我は突発的に起こるのでなかなか難しいことではあると思います。

この事業はとても良い制度だと思いますので、今後も継続して取り組んでほしいです。

【文化財】

1. 市尾遺跡第4次発掘調査(新規)

新規であるため総合評価は「－」(前年度数値無し)ですが、ご担当者に説明を頂き、現地に行きました。既に新築の住居が有るため、発掘跡を見ることはできませんでしたが、「旧河道(かどう)であること」という貴重な調査結果がわかったとのことで、有効であると思います。今回の調査が第4次調査ということです。発掘調査は、積み重ねが大事だと思いますので、今後も地道に継続してください。当初5mx10mの調査区を5mx5mに変更・縮小されたのは、費用対効果の点で賢明な判断だと思います。新規事業に迅速に対応されて良かったと思います、今後も「周知の埋蔵文化財包蔵地」にしたがって対応されることに期待します。

2. 与楽古墳群整備事業(継続)

指標数値を設定し難いため総合評価は「－」ですが、ご担当者に説明を頂き、現地に行きました。与楽カンジョ古墳は整備が進み、墳丘盛土及び芝生により方墳として古墳群開発が順調に進んでいて良かったのですが、6月初旬の大雨で墳丘の南東部が一部崩壊してしまいました。大変残念に思います。今後は、整備事業と災害復旧事業を併せて進めていただきたいと思います。

また、与楽灌子塚(かんすづか)古墳は、定期的に墳丘の草刈り管理をされていますが、ここも墳丘の一部が6月初旬の大雨で崩壊しましたので、規模と対象は異なりますが、災害復旧事業を進めていただきたいと思います。

寺崎白壁塚古墳も定期的に墳丘と周辺の草刈り管理をされています。与楽カンジョ古墳付近で与楽地蔵盆が開催されており、よく地元の皆さんに周知されていて、大いに評価できると思われます。今後も、整備事業を継続することで、与楽カンジョ古墳から寺崎白壁塚古墳までウォーキングコースになることを楽しみに期待します。

3. 市尾墓山古墳修理保存事業(継続)

指標数値を設定し難いため総合評価は「－」ですが、ご担当者に説明を頂き、現地に行きました。前方南隅はきれいに復元され、芝も定着して、後円部の上部も景観に合って、観光客にも好評ですし、地元ボランティア活動に馴染んでいます。墳丘部の整備は完了ということで妥当だと思います。石室内の電気修理工事が完成したとのことで、古墳ファンからは石室の一般公開を希望する声があります。直射日光を避けるため夜間の公開を検討されては如何でしょうか。今後の整備は、駐車場等の周辺整備に拡張していくとのことで、益々地域の象徴として支援していかれることを期待します。

4. 高取城址櫓の鯨瓦 復元事業(新規)

新規であるため総合評価は「－」(前年度数値無し)ですが、ご担当者に説明を頂き、現地に行きました。リベルテホールロビーに展示されており、大変好評でした。高取城の名声を高めており、大いに評価されると思います。新聞やテレビでも紹介されたので、遠方からお越しのお客さんもいらっしゃいました。さて、この史跡高取城址整備事業について、次に展示できるものを検討していただきたいと思います。そうすると展示場所を確保する必要があります。基本は、高取町歴史研修センターです。この機会に是非、高取町歴史研修センターの価値と機能を高める整備を検討されては如何でしょうか。

【社会教育】

1. 社会教育委員会議(継続)

社会教育においても、リベルテ運営、図書室運営、事業など臨機応変な対応が求められる1年であったと思います。会議では住民としての目線で毎回熱心に討論されており、執行機関である教育委員会事務局職員とも良好な関係で、共に前向きな事業展開を目指されております。

2. 生涯学習リベルテ教室(継続)

生涯学習の場があるということは町民の活力にもつながっていると思います。そのため、生涯学習教室の受講者数や教室数の増大を願っていますが、なかなか解決策が見当たりません。そこで、教室とは別の視点から、同じ趣味の者が集う会を発足させ、そこに人が参加してくるということは不可能でしょうか？より多くの町民の生きがい・楽しみとなるような活動を願います。

3. 高取町文化祭(継続)

令和5年度から再び開催されるようですが、中心となっていた文化協会が現在解散状態ということなので、当面は社会教育委員や志がある人を巻き込み、負担となりますが、町教育委員会事務局主導で今の状況に応じた形で開催していただければと思います。

4. 少年少女発明クラブ(継続)

科学やものづくりに楽しみを感じる子どもたちにとって、高取町にこのような事業があることは喜ばしいことであると思います。女子の参加者が多いのは時代を反映しているようでありがたいです。色々大変だとは思いますが、補助金や指導者が続く限り、今後も事業の継続を願いたいです。

5. リベルテホール貸館事業(継続)

コロナ禍で貸館や事業の開催見送りは仕方がないです。予防接種会場や健康診断会場としては有効利用されていたと思います。令和5年5月以降は、新型コロナウイルス感染症が5類になったことによる新たな貸館の増加が見られると思います。

6. リベルテキッズらんど(継続)

回数は少ないですが、開催されていることはありがたいと思います。子どもたちのために「たかとり夢くらぶ」の役員の方々は、様々な意見を出し合って積極的に活動されています。このような団体が高取町内にあることは、とても嬉しいことだと思います。今後とも事業の継続をお願いします。

キッズらんど、発明クラブ、放課後子ども教室、メープルクラブ等、子どもを対象とした事業等についても、住み分けや合同開催などを考えてはどうでしょうか。

7. 奈良県学校・地域パートナーシップ事業(継続)

地域の力を活かす事業であり、ボランティアの皆様のおかげで子どもたちが豊かな体験・経験ができており、本町においても十分な取り組みをされていると思います。ご協力に感謝するとともに、今後も事業の継続、並びに発展をお願いします。

8. 家庭教育の推進(継続)

SNSの利用で社会が大きく変化した今、保護者のネットワークのあり方も日々変化しています。

しかし、1か所に集まり、顔を突き合わせて共に行動することを有意義と考える保護者の方々にとっては、保護者同士の縦のつながり・横のつながりを作るにあたり、とても良い交流の場になっていると思います。家庭教育のあり方は、それぞれ考え方や背景の違いもあり、その時代にあった活動でいいと考えています。講座講師の謝礼・施設使用料の公費負担は、非常にありがたいと思います。

【社会教育】

9. 成人式(継続)

縮小された形での開催であっても、「成人式」の開催は、新成人・保護者ともに喜んでいただいていると思われます。また、令和4年度から高取中学校吹奏楽部の演奏も復活し、「とてもよかった。」というお声も聞きました。保護者の方からも「子どもたちの晴れ姿を見ることができてよかった。」というお声も聞きました。大きな社会問題とならない限り、今後も継続した実施をよろしく申し上げます。

10. リベルテ図書室管理運営事業(継続)

通常運営となって、利用者が戻り、有効活用されているようでありがたいです。ネット蔵書検索や整理など前向きな運営がなされていると思います。また、図書室内の本の並べ方が工夫されていて、とても見やすいと感じました。

【社会体育】

1. 高取町民スポーツフェスティバル事業(継続)

スポーツを通して健康の維持増進や親睦を深めるためにも、来年度は是非実施してほしいと願っています。新型コロナウイルス感染症で実施できないのは、やむを得ないことだと思いますが、感染症の推移を見ながら方法などを考えていっても良いと思います。

2. 奈良県市町村対抗子ども駅伝大会事業(継続)

久しぶりに開催されて、よい成績を残してくれました。よく頑張ったように思います。参加体制に課題があると思います。小学校や教育委員会事務局だけに任せるのではなく、町全体で取り組んでいく必要があるように思います

3. スポーツ推進委員活動事業(継続)

新型コロナウイルス感染症の推移を見ながら、実施できる内容であれば、積極的に開催して頂ければと思います。感染症対策をしながらの実施になると思います。

4. 社会体育施設及び学校施設の活用・管理事業(継続)

町民の体力維持・増進を進めて行くためには、施設の充実が大切なことだと思います。今現在、町の施設を見渡してみると、体育館施設が足りないと思います。早急に町と相談をして検討していく必要があると思います。

5. 総合型地域スポーツクラブ「メープルクラブ」事業(継続)

この事業を進めていくにあたって、スポーツ施設の充実が大切なことだと思います。「4」と同じように町と話し合いを持って、前向きに検討してほしいと思います。2031年には奈良県で国体も開催される予定です。